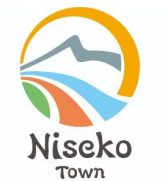


観光振興ビジョンのフォローアップについて

令和6年度第1回ニセコ町観光審議会
2024年11月 ニセコ町





ニセコ町観光振興ビジョン(2022.3)の進捗状況



数値目標(KPI)の進捗状況

数値目標

令和元(2019)年度

令和10(2028)年度

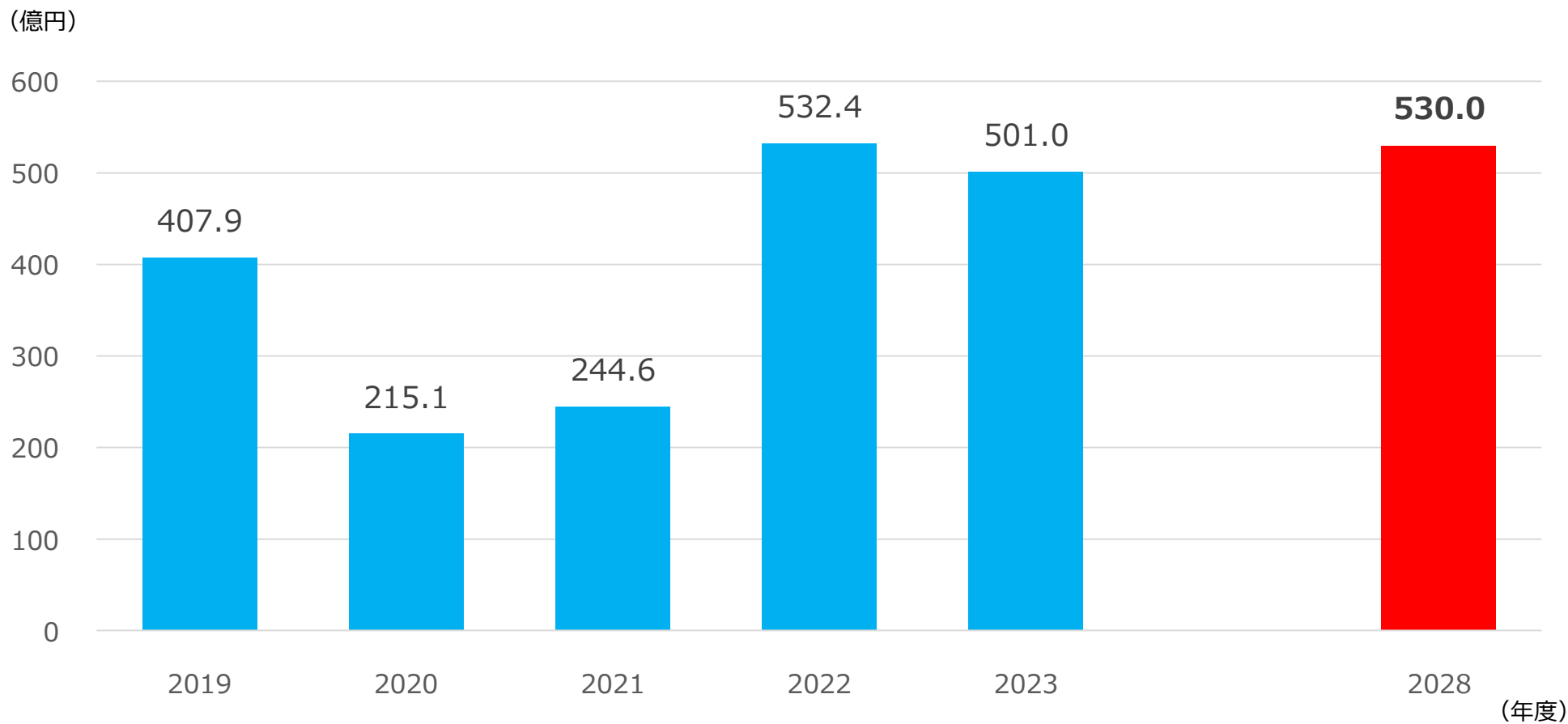
【指標1】 観光消費額	407.9億円	→	530.0億円
【指標2】 延べ宿泊者数	47.3万人	→	80.0万人
【指標3】 観光客満足度	21.3%	→	30.0%
【指標4】 リピーター率	80.9%	→	70.0%
【指標5】 宿泊客1人1泊当たり CO ₂ 排出量	27.3kg/人・泊	→	15.3kg/人・泊 ※44%削減
【指標6】 観光で生活が豊かになると 思う町民の割合	40.0%	→	60.0%

【指標1】観光消費額

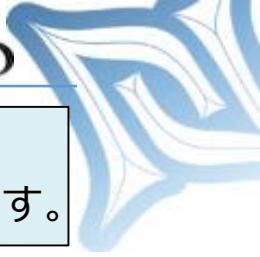


- 2023年度の消費額は501.0億円と、2022年度からは減少（2022年度は目標を達成）。
- 2022年度はコロナ明けのリベンジ消費と考えられるため、追って見直しを検討する。

観光消費額

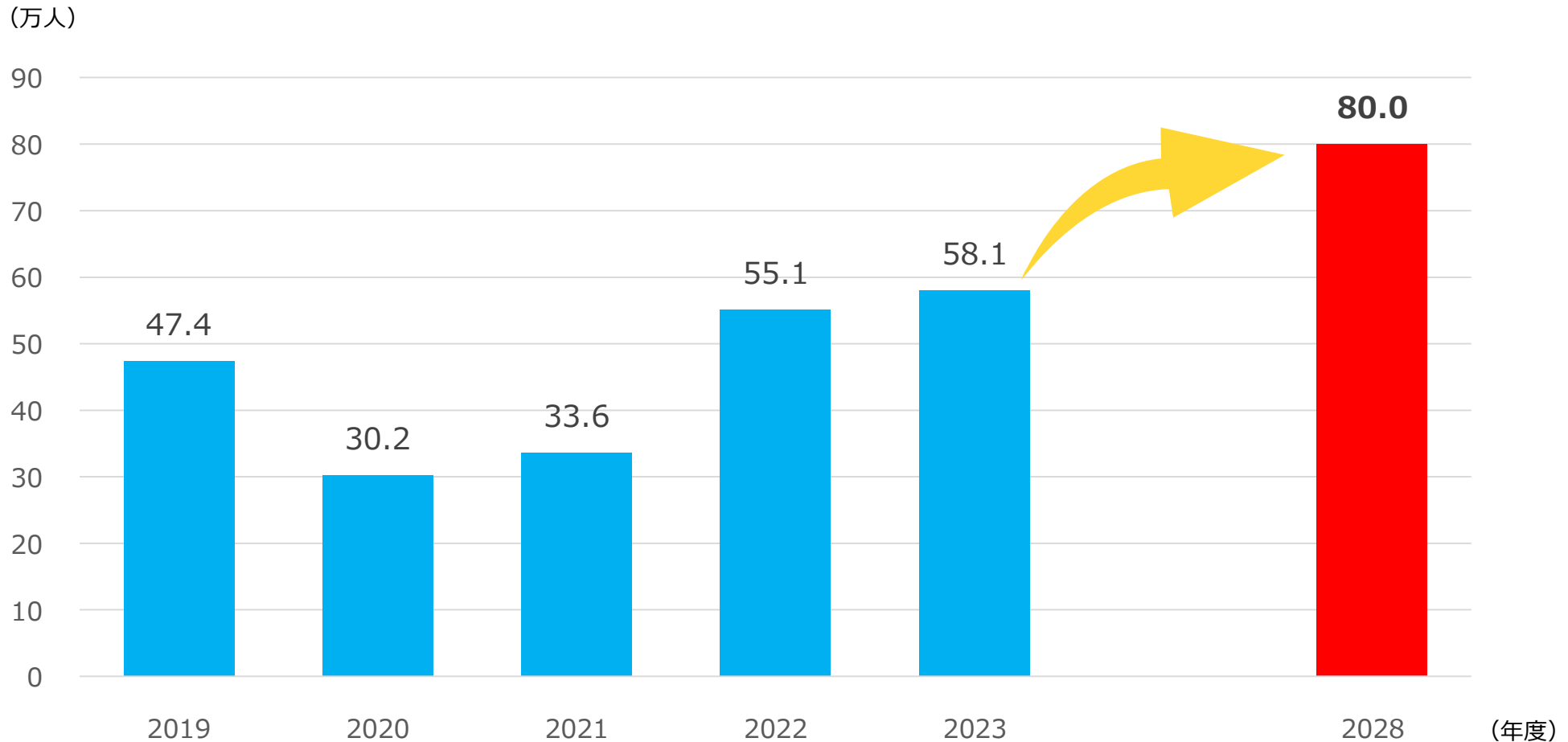


【指標2】延べ宿泊者数



- 2023年度の延べ宿泊者数は**58.1万人**とコロナ前を超える水準となった。
- オフシーズンの宿泊客数の底上げ、日帰り客の宿泊化等により、**2028年度に80万人**を目指す。

延べ宿泊者数

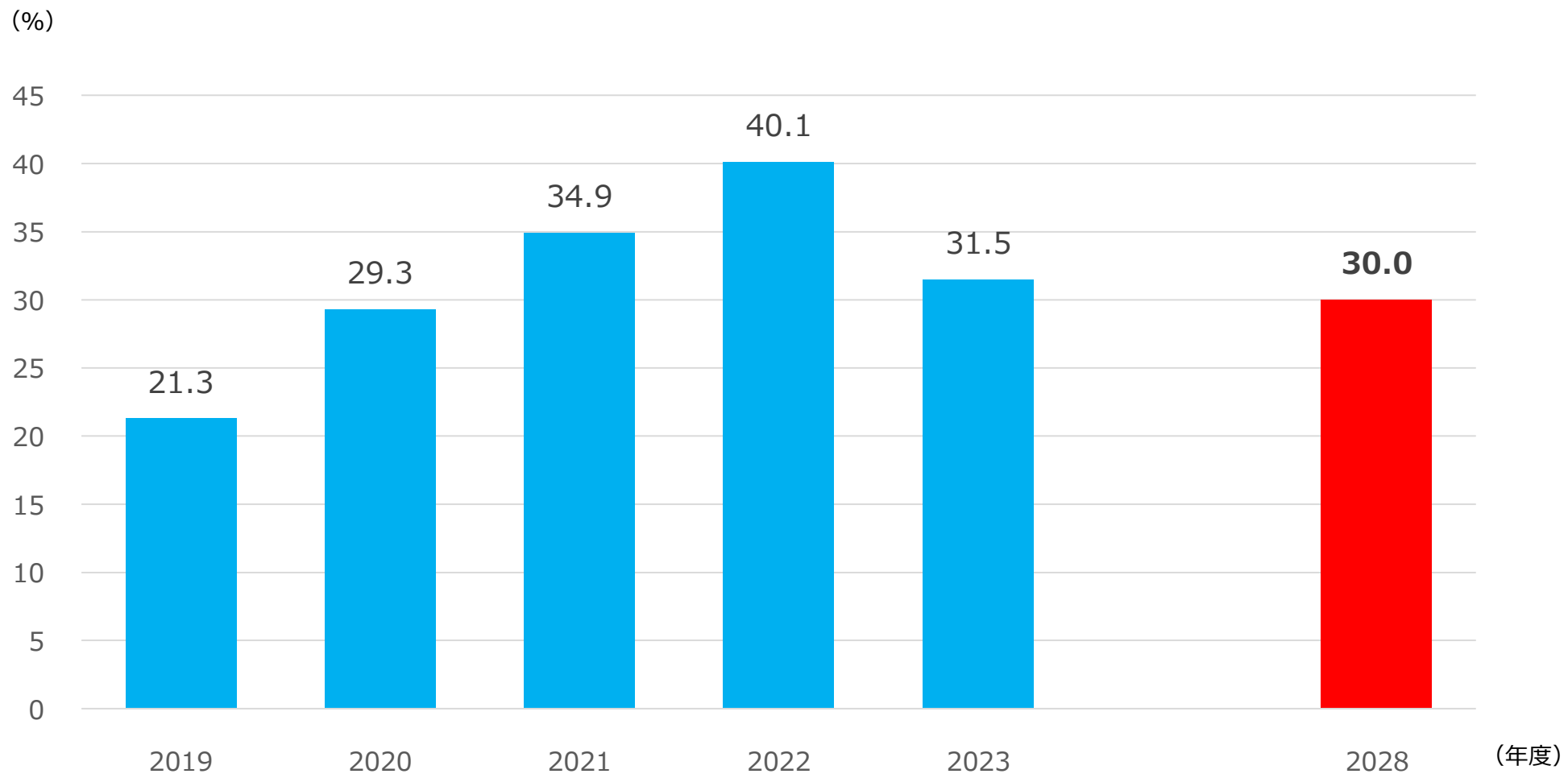


【指標3】観光客満足度



○2023年度の観光客満足度は**31.5%**と、すでに**2028年度目標：30%**を達成。
○2022年度比マイナスとなったが、高みを目指すため、**目標の上方修正を検討したい。**

観光客満足度

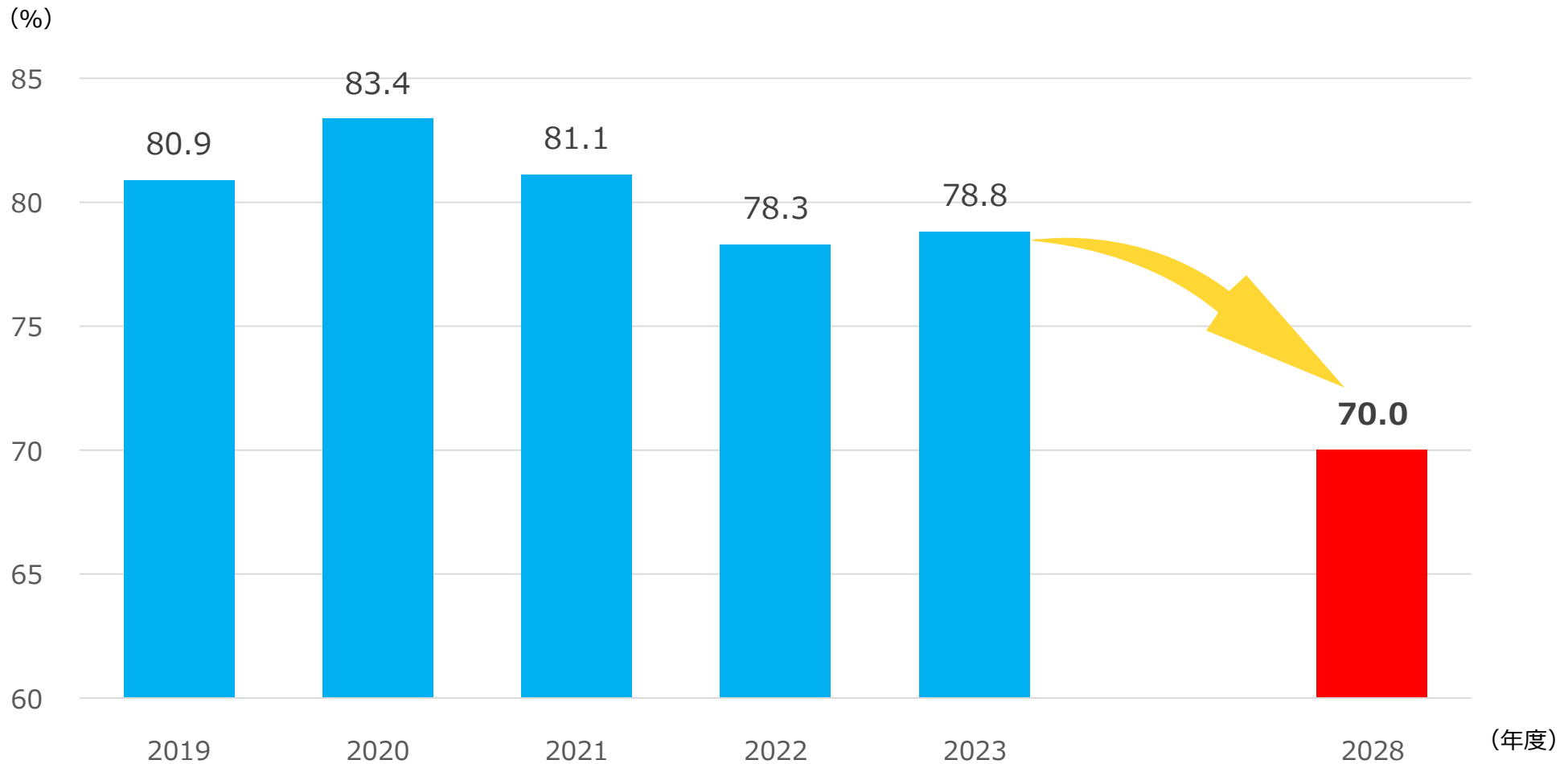


【指標4】リピーター率



- 2023年度のリピーター率は78.8%と、2022年度からほぼ横ばい。
- 新たな地域の魅力創出による新規顧客の掘り起こし等により、2028年度に70%を目指す。

リピーター率



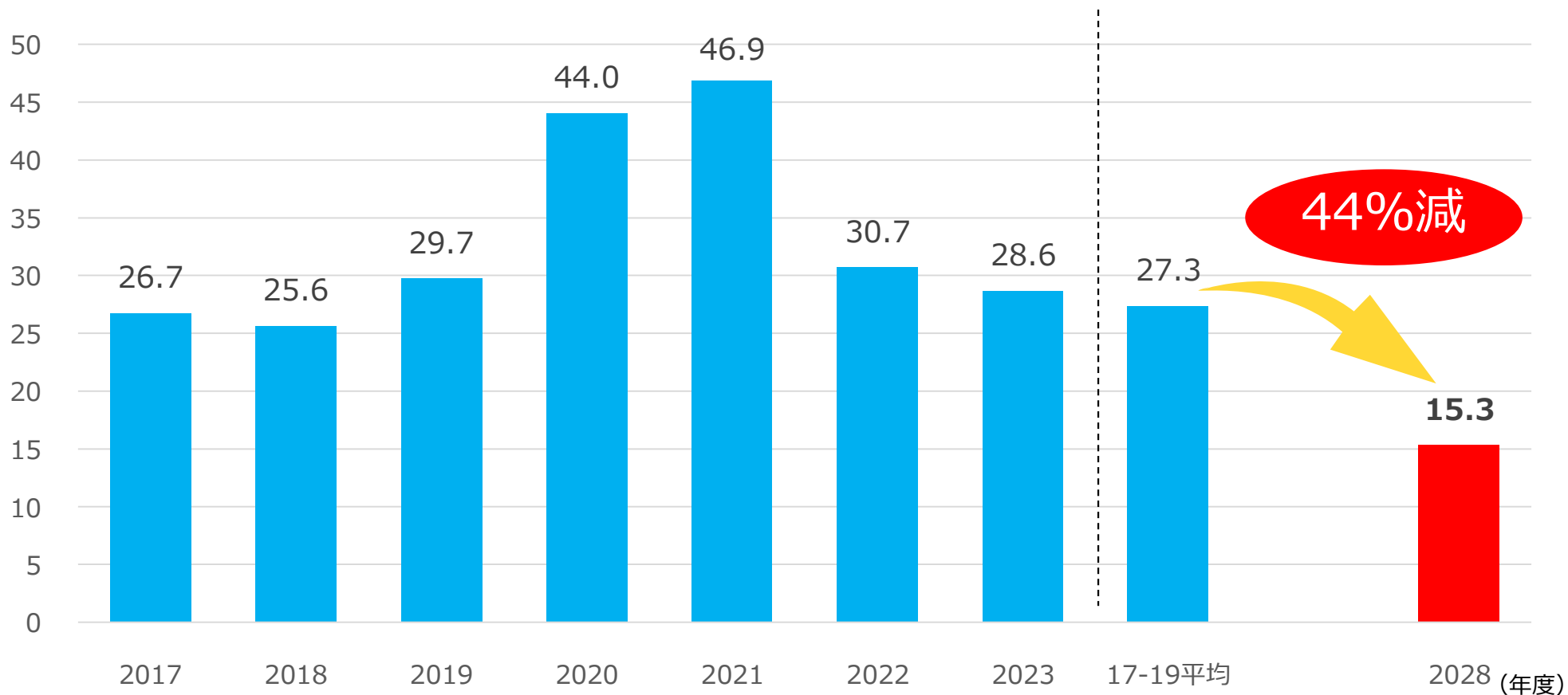
【指標5】宿泊者1人1泊当たりCO₂排出量



- 2023年度は28.6kg/人・泊と、コロナ前の水準まで回復。
- 環境負荷を削減する取組により、**コロナ前比44%の削減**を目指す。

CO₂排出量

(kg/人・泊)

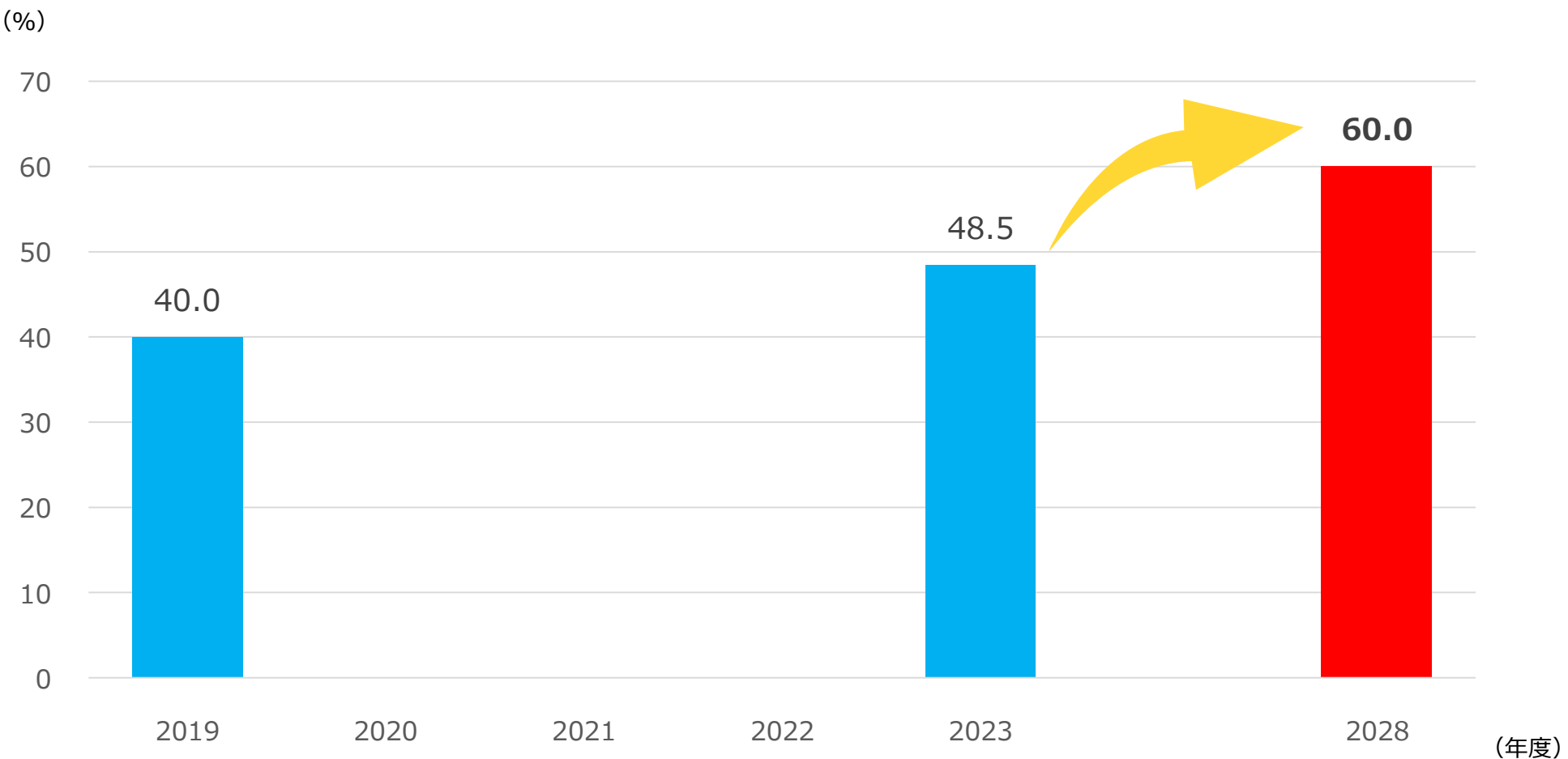




【指標6】観光で生活が豊かになると思う町民の割合

- 2023年度2回目の調査を実施し、2019年度よりも割合は向上。
- 観光客の行動変容の喚起等町民生活の質を高める取組等により、2028年度に60%を目指す。

観光で生活が豊かになると思う町民の割合





観光に関する施策の展開状況

(2023年度・2024年度)



2023年度・2024年度の取組

【基本戦略】

【施策の方向性】

基本戦略1

観光産業の安定的な
経済活動と地域貢献

1-1 季節変動の平準化と雇用の安定(従業員の所得向上・福利厚生充実)

- ・夏の誘客に向けた取組 (AI北斎スタンプラリー、ベジピック)
- ・MICE強化に向けた取組 (倶知安・ニセコ両観光協会)
- ・教育旅行、修学旅行対応の強化
- ・特定地域づくり事業協同組合制度の検討 (企画環境課と連携)
- ・潜在的労働力の掘り起こし (スキマバイト)

1-2 観光事業者における域内調達率(材料・雇用等)の向上

- ・e旅納税 (旅行者現地決済型ふるさと納税) の推進
- ・町内事業者連携を要件とした補助制度の創設
- ・潜在的労働力の掘り起こし (スキマバイト)

1-3 観光事業者の地域コミュニティへの貢献(カーボンオフセット等)

- ・e旅納税 (収入の一部は地域コミュニティに還元) の推進
- ・民間有志による寄付付き商品の開発・販売 (NIS-ECOプロジェクト)
- ・民間事業者によるプラスチック・ネガティブ商品の開発検討
- ・観光事業者の省エネ改修等への支援 (脱炭素・再エネ推進補助金など)



2023年度・2024年度の取組

【基本戦略】

【施策の方向性】

基本戦略2

観光客の多様な価値観への対応と受入環境の整備

2-1 観光客への特別な観光体験(宿泊・食・アクティビティ等)の提供

- ・着地型旅行商品の開発・強化
- ・民間事業者による国補助事業への協力・支援
- ・スカイバスニセコの運行(倶知安・ニセコ両観光協会)
- ・夏の誘客に向けた取組(AI北斎スタンプラリー、ベジピク)

2-2 観光客・町民の地域資源(自然・文化・歴史)への理解促進

- ・町民向け割引・特典情報の発信
- ・ニセコ高校と連携した取り組み(ラベンダープロジェクト、SDGs旅行商品の開発、双子のさくらんぼの木後継樹プロジェクト)
- ・フットパスの推進
- ・鉄道文化遺産等との連携
- ・Green DestinationsやUN Tourism Best Tourism Villages、グラスゴー宣言署名などの周知・PR

2-3 安全で快適に観光できる受入環境の整備

- ・スカイバス、周遊バスの運行
- ・カーシェア実証導入(冬季含)
- ・冬期タクシー不足対策
- ・アンヌプリ-モイワ間冬季除雪
- ・デジタルマップの活用(グルメマップ、スタンプラリー)
- ・AIカメラによる混雑状況可視化(綺羅乃湯)



2023年度・2024年度の取組

【基本戦略】

【施策の方向性】

基本戦略3

観光によって町民生活の
質を高める

3-1 観光客の環境配慮型行動の喚起

- ・ニセコルールの周知
- ・ドギーバック（食べ残し食品持ち帰り）の導入
- ・Green DestinationsやUN Tourism Best Tourism Villages、グラスゴー宣言署名などの周知・PR
- ・しりべしサステイナブルスタイルへの協力（後志総合振興局）

3-2 地域の魅力や観光の取組の情報発信（インナーブランディング含む）

- ・「ニセコ価格」対策への取組
- ・ニセコ高校と連携した取り組み
- ・子ども向け体験機会の提供（星空ツアー招待、ホテル見学、植樹など）
- ・地域貢献事業者・商品の積極的活用
- ・地域おこし協力隊による情報発信（note、SNSなど）
- ・町民向け割引・特典情報の発信

3-3 観光関連の起業を増やし、自然・文化の継承に寄与

- ・起業支援補助の拡充、要件の一部緩和
- ・町内事業者連携を要件とした補助制度の創設
- ・地域おこし協力隊の受入と活用

ニセコ町の国際認証に関する取組

ニセコ町の状況

- 2020年 Green Destinations TOP 100 stories 選出
- 2021年 Green Destinations TOP 100 stories 2年連続選出
UN Tourism BEST TOURISM VILLAGE 認定
- 2022年 日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D) 申請 ※承諾：2023年3月
- 2023年 Green Destinations ACP SILVER AWARD 受賞

(参考) 他地域での国際認証に関する取組の状況



Green Destination ACP

- 2019年 釜石市 Bronze 賞 (※日本初)
- 2022年 釜石市 Silver 賞
- 2024年 釜石市 Gold 賞
高山市、小豆島、大洲市
Silver 賞



BEST TOURISM VILLAGES

- 2021年 美山町 (ニセコ町と共に日本初)
- 2022年
- 2023年 美瑛町、奥松島、白馬村、白川村
- 2024年 天城町、西川町



日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D)

現在41地域が承諾済 (R6.11.5時点)



観光振興ビジョン スケジュール

